

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-029  
 担当 松本  
 内線等 322

PDCA	事務事業名	雇用対策事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第1節 観光・産業の振興					
		基本施策： 5. 勤労者対策					
		単位施策： (1) 雇用対策					
	根拠法令等	個別施策： ①若者の就労支援					
	対象・目的	若者就職支援イベントの開催や勤労団体への支援を通じて、市内企業と求職者のマッチング及び労働者の福祉増進を行い、労働市場の安定を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	新卒者を含む就職希望の若者（40歳未満）及びその家族を対象とした若者就職支援イベント「ヤング・ジョブ・キャラバンinはんだ」を開催する。労働者福祉協議会等の勤労団体へ補助金を交付する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①「ヤング・ジョブ・キャラバンinはんだ」開催回数	1	1	1	回	
		②補助対象勤労団体数	2	2	1	団体	
		事業費	659	656	458	千円	
		人件費	1,269	937	932	千円	
		総事業費	1,928	1,593	1,390	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①「ヤング・ジョブ・キャラバンinはんだ」参加者一人当たりのコスト	1,030	958	1,021	円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①「ヤング・ジョブ・キャラバンinはんだ」参加者数	実績値	154	162	154	人
目標値			300	300	300		
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	小さい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	D					
		40歳未満の就職を目指す若者を対象に、若者就職支援セミナー「ヤング・ジョブ・キャラバンinはんだ」を開催するとともに、同日には、市内企業と新卒者のマッチングを図る「るびあん2021地元企業就職ガイダンス&業界研究フェア」を開催し、面接就職活動の支援及び就職希望者へマッチングの場を提供した。大学生への周知に併せて市内高校（工業・商業・農業）にも本イベントを周知し、より多くの学生に地元企業を知ってもらうなど、地元企業と接する機会の創出に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者数は減少した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
	インターネットを利用した就職活動が主流となりつつあるため、参加者が簡単に本イベントへ申込みができるようスマートフォンなどから直接申込みできるような仕組みを構築していく。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、買い手市場になることが予想されるため、今後対応策について検討する。						
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		「ヤング・ジョブ・キャラバンinはんだ」参加者数			300	人	